



CHARTERED IN
NOVEMBER 21, 1955

THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

札幌クラブ

2026年5月

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

Leadership Training/ユース

一 主題 一

国際会長 Faith, Love, Action
アジア会長 Act now with faith and love!
東日本区理事 『ワイズのらしさ再発見』
Rediscovering Y's Uniqueness
北海道部部长 「Well Beingなワイズライフを」
札幌クラブ会長 「充実した人生を送るためのワイズ活動」

Edward Ong (シンガポール)
田上 正 (熊本むさし)
山下 真 (十勝)
柴田 伸俊 (札幌)
小野 健 (札幌)

札幌クラブ役員
会長 小野 健
副会長 山崎 大輔
書記 本宮 大聡
会計 秋葉 聡志
直前会長 小野 健

みことば

御言葉を行う人になりなさい。

ヤコブの手紙1章22節(秋葉 聡志 選)

巻頭言

小野 健

先日マダガスカルの子供から「経済産業省の国際化促進インターシップに応募したいんだけどどう思う？」という連絡がありました。実は彼女は母親が数年前に病没しており、大学卒業後も続けて勉強したいという意思が強く、「あしながアフリカ遺児高等教育支援100年構想」というプログラムに2年続けて応募しており、今年は最終選考まで残っているのですが、49か国から1名という狭い枠なので難しいかもしれません。義理の妹が現在札幌パークホテルに勤務していることもあり、マダガスカルの家族にとって日本はとても親しみのある国になっており、姪っ子も日本の企業に就職したい、日本とマダガスカルを繋げる仕事をしたいと日々研鑽しています。経産省のインターシップは企業さんとのマッチングの兼ね合いもあり、毎年数万人の応募に対して最大で80名の受け入れなので、これもとても狭き門ですが頑張ってもらいたいです。

また、昨年夏からJICAさんの支援を受けてマダガスカルの若者3名が特定技能実習生として、北海道の農業会社に勤務しながら農業

技術を学んでいます。まだ彼らには会えていないのですが、100名以上のマダガスカルの農業技術学校の卒業生の中から選ばれたとても優秀な若者たちで、3年間の研修が終わったらマダガスカルで農業起業したいと頑張っています。出張や仕事の合間で時間を見つけて彼らのサポートができればと考えているところです。

私自身現在関わっているJICAの農業プロジェクトをはじめ長年マダガスカルに携わっており、家族も日本に関わる仕事をしたいと考えているので、彼らの夢が実現できるように応援するとともに、私自身のセカンドライフとして一緒に日本とマダガスカルを繋げるアクションを起こしていきたいと企んでいます。



2026年4月例会 在籍会員 11名 出席者 6名 メネット 2名 メーキアアップ 0名
出席報告 ゲスト 0名 ビジター 5名 出席者合計 12名 出席率 55%

札幌ワイズメンズクラブ 2026年5月例会

日時：2026年5月19日（火）18:30～20:30
会場：札幌YMCA 101教室+リモート
会費：1,500円

- | | | | |
|-----------------|---------------------------|------------------|-------|
| | | 司会 | 山崎 修 |
| ① 開会点鐘 | | 会長 | 小野 健 |
| ② ワイズソング、ワイズの信条 | | | 全 員 |
| ③ 今月の言葉・なぜこの言葉を | | | 秋葉 聡志 |
| ④ 開会あいさつ | | 会長 | 小野 健 |
| ⑤ 誕生日 | 5月 3日 | 宮崎 | 善昭 |
| | 5月 6日 | 柴田 | 邦子 |
| | 5月 16日 | 宮崎 | 由美子 |
| | 5月 18日 | 秋葉 | 康子 |
| | 5月 26日 | 北川 | 佳治 |
| | 5月 28日 | 伏木 | 康 |
| ⑥ 結婚記念日 | 5月 2日 | 秋葉聡志・康子 | |
| | | 本宮大輔・瑞穂 | |
| | 5月 7日 | 宮崎善昭・由美子 | |
| ⑦ 卓話 | 平野 順風 氏 | (株式会社CommonsFun) | |
| | 「創成東での私の活動」 | | |
| ⑧ 諸報告 | | | |
| ⑨ YMCA報告 | 担当主事 | 北川 佳治 | |
| ⑩ 今月の歌 | | | |
| | 「北国の春」 千昌夫 | | |
| | (作詞：いではく 作曲：遠藤実) (小野 健 選) | | |
| ⑪ 閉会点鐘 | 会長 | 小野 健 | |



卓話する中安氏

内容:

中安氏は理学療法士として長年、医療的ケア児と関わる中でNPO活動を志し、社会教育士の資格取得後、2024年4月にNPOくるりんラボを設立されました。2026年4月には法人化を果たし、現在もフルタイムの理学療法士として働きながら活動を続けられています。

活動の原点は、医療的ケア児との出会いにあります。重度の障害を持ちながらも抱っこすれば笑う子どもたちが、自宅・病院・特別支援学校という限られた場でしか生活できていない現実と直面し、「支援の仕組みそのものが地域の分断を生んでいるのではないか」という問題意識を持たれました。この気づきから、医療的ケア児も地域の子どものとして地域で育っていける社会づくりを目指すことを決意されました。

NPOの理念は「誰もが自分らしくいられるインクルーシブな社会を、地域みんなで輪になって考え、つくる」ことです。インクルージョンとは多様な人材が認め合うダイバーシティをさらに超え、それぞれの特性が相互に機能し合っている状態を指すと丁寧に説明されました。そして、その場を「自分たちが定義して提供する」のではなく、地域・大学・企業・町内会と協働してともに考えてつくることを大切にされています。



札幌ワイズメンズクラブ2026年4月例会

日時：2026年4月17日（火）18:30～20:30
場所：札幌YMCA101教室+リモート
出席者：小谷、小野、北川、柴田、伏木、宮崎、
本宮、山崎、（ゲスト）中安
出席者計 9名
卓話：中安 恭平 氏
(NPO くるりんlabo 代表/理学療法士)
表題：「くるりんlaboの活動」



集合写真

前列左から小谷、柴田、中安、小野、宮崎
後列左から伏木、山崎、本宮、北川

2025-2026年度 第2回 北海道部評議会議事録報告

柴田 伸俊



中安氏の自己紹介スライド

現在の主な活動は三つです。①こどもみらい塾では、町内会の夏祭りをこども会議で企画する取り組みが代表例です。車椅子の子も参加する会議で、子どもたちが自発的にインクルーシブなアイデアを次々と出し合う姿は、「子ども同士の関わりは大人の常識を超える」ことを実感させてくれると語られました。②地域学校協働活動では、札幌市教育委員会の委嘱を受け、手稲区の小学校を拠点に放課後の居場所づくりや地域連携授業を展開されています。③インクルーシブゼミでは、北海道文教大学・北海道大学・北海道科学大学の3校と連携し、各学部の特性に応じた伴走型の学びの場を育てられています。

最後に中安氏は、「子どもの学びは大人が提供するものではなく、子どもを信頼することが可能性を引き出す」と述べられました。そして「自分らしさを理解した主体的な人材を育てるには、教える教育ではなく、共に学ぶ伴走的な教育が有効である」という信念を語られ、インクルーシブな場はすべての人にとっての豊かな場であることを力強く伝えられました



例会の様子

評議会実施

2026年4月18日(土) 13:30～16:30

評議会に先立ち

第30回東日本区大会(札幌)HCC

<2027年6月5日(土)予定>

の第1回実行委員会を開催。

- ①実行委員会メンバーの確認
- ②会場予定の経過説明
- ③今後の課題が話し合われた。
札幌クラブへは大会会場hitaru3F
クリエイティブスタジオの場所確保をお願いされる。
→後日5月1日秋葉・柴田にて会場確保確定。
当日の懇親会会場はJRタワーホテル日航
札幌36Fスカイバンケットルームに決定。

<評議会内容>第1号議案～7号議案が承認される。特筆は下記5点

- ①YMC A サービス/ピンクシャツデー
支援を前年度実施60,000円
→30,000円に減額
- ②チミケップ支援申請30,000円を
100,000円に増額
- ③チャリティーラン支援申請30,000円を
15,000円(1チーム分)に減額
- ④2026-27年度北海道部次期部長選出は
北見クラブより推薦
- ⑤その他連絡事項
 - 1) チミケップワイズワーク
2026年6月13日～14日の予定
 - 2) 北海道部第三回評議会
2026年6月27日(土) リモートにて実施
 - 3) 2026-27年度北海道部会の日程
2026年8月29日(土)
13:00～14:00 北海道部評議会
14:30～15:30 北海道部 部大会
16:00～18:30 十勝クラブ
創立50周年記念例会

場所：中札内村 フェーリエンドルフ

以上

京都パレスクラブ 55周年記念例会参加報告

小野 健

2026年4月18日（土）に札幌クラブのDBCである京都パレスワイズメンズクラブの55周年記念例会が京都市ホテルオークラで開催され、小野が札幌クラブの代表として参加しました。京都パレスクラブの皆さま、京都部クラブの皆さま、IBCとしてマニラダウンタウンクラブ（フィリピン）、仁川チェムルポクラブ（韓国）、台中エバグリーンクラブ（台湾）、DBCの東京グリーンクラブ、熱海クラブの皆さまが一堂に会し、300人以上が参加する（！）とても盛況な記念例会となりました。

京都パレスワイズメンズクラブの55周年記念例会は、「Thanks! Y's Men」を主題に、50周年で始動したラオスプロジェクトが京都パレスクラブの皆さんの多大な尽力のみならず、海外・国内のワイズメンからの応援を受けて、様々な困難や紆余曲折を乗り越えて実現することとなり、その感謝を伝えたいというコンセプトで行われました。

第1部（式典）が「With this step（この一歩から）」として、大野ワイズメン、YMサービス・ラオCEOの西村さん、ビエンチャンYMCA国際ホテル専門学校校長の小畑さんのラオスプロジェクトの実現に中心的な役割を果たしてきたお三方による記念アクト報告（プロジェクトXのような感動的なお話でした。本当に大変なご苦勞をされてきたことが良く分かりました）を中心に行われました。

第2部は「Pay it forward（恩送りをしよう）」のコンセプトで、IBC・DBC紹介、京都パレスクラブのメンバー紹介（AIを駆使して皆さんイケオジ・イケオバとなったプレゼンでした）、名阪神弦楽四重奏団の皆さんによる素晴らしい演奏をバックに美味しいお食事と歓談であっという間に楽しい時間が過ぎました。最後は京都パレスクラブメンバーの皆さんとハイタッチしてのお別れとなり、その後のお疲れ様2次会となりました（学生時代以来、本当に久方ぶりに水割り一氣をしました）。

新納会長、吉岡実行委員長をはじめ、京都パレスクラブの皆さんが準備から時間と労力をかけて今回の記念例会を開催していただき、本当に素晴らしい時間を共有させていただくことができました。京都パレスクラブの皆さんとの再会でき、色々な話ができてワイズメン同士の交流も深めることができました。これからも引き続き交流を活性化して一緒にワイズを盛り上げていきたいと改めて思いました。京都p割れうワイズメンズクラブの皆さん、本当にありがとうございました！



何故この歌を！小野 健

季節的にはもう少し前かなとも思ったのですが、5月上中旬の北海道はようやく暖かくなってきました。ということで定番ではありますが（もしかするとクラブ例会ですでに取り上げられているような気がします）、千昌夫さんの「北国の春」をチョイスしました。

1977年4月5日にリリースされた曲で、100位以内初登場から通算92週目でのミリオンセラー達成で、中島みゆきさんの「地上の星／ヘッドライト・テールライト」が2003年に新記録を樹立するまでミリオンセラー達成までの100位圏内チャートイン週数が歴代1位でした。

都会で暮らす男性が実家から届いた小包を受取ったときに、ふるさとや家族、かつての恋心などを想う内容で、昭和を代表する歌謡曲の一つですね。

何故この言葉を 秋葉 聡志

2026年度北海道YMCAの年間聖句です。ただイエス・キリストを救い主と信じることで人は救われ、それは行いによらないとパウロはローマの信徒への手紙で語ります。一方、ヤコブの手紙の著者は、信仰に加えて行いの大切さを強調します。イエスを救い主と信じることで不十分で、そこには必ず行いが伴うはずだと言うのです。イエスを信仰する者にとって大事なことは祈りとそれに基づく行動です。



<北海道YMCA創立記念日集会>

4月4日(土)に、北海道YMCA創立記念日集会在札幌YMCAおよびオンラインにて開催されました。今回は、日本キリスト教会牧師の古賀清敬氏に「戦争に向かう社会にさせないために～私たちを縛るものから解放、語り合える市民社会を求めて～」と題して記念講演をいただきました。

北海道YMCAミッションステートメントに「私たちは、アジア社会の一員として世界の平和を願い、共に喜びや苦しみを分かち合える地球社会の実現に力を注ぎます。」と記されているように、私たちは日常的に「平和」「正義」「公正」に触れていますが、古賀先生のお話により、一層の深みを持たたように思います。これからも、スタッフ一同、YMCAの使命を一人ひとりが自覚し、日々の働きを進めていきます。



<全道職員研修報告>

4月29日(水祝)に、北海道YMCA(札幌・北見・とちか帯広)全職員を対象とした、合同研修会を開催しました。今年も1日開催とし、各ブランチ間をオンラインで繋いで行われました。

今年のテーマは、「こどものためのウエルビーイングを考える」と題して、1.秋葉総主事による講話、2.「子ども性暴力防止法」理解、3.研修2に関するグループディスカッションの流れで研修を行い、人権の観点から、こどものためのウエルビーイングを考える機会に繋がっていきました。

スタッフ一人ひとりがYMCAの使命を再確認すると共に、その使命の中に人権を守ることが含まれていることを覚えました。スタッフ一同、この気づきや学びを、日々の働きに還元していきたいと思えます。



日時：2026年4月28日(火) 19:00～19:45

場所：北海道YMCA総主事室+オンライン

参加者：小野(長)、秋葉、小谷、北川、柴田、宮崎、山崎(OL)本宮、安田

1.5月号ブリテンについて

原稿執筆担当者、ブリテン編集担当(仮)などを資料に基づき協議、決定

2.5月例会について

日時：2026年5月19日(火) 18:30～20:30

場所：北海道YMCA 101教室(ハイブリッド)

卓話：平野 順風氏

3.2026年6月以降の例会卓話について

卓話候補を確認し、アサイン担当を確認した。

4. 東日本区大会の実施について

- 大会の実行委員会を立ち上げ。実行委員長として伏木メン。北海道3クラブで分担して準備を進める
- 日程は来年の6月5日(土)。1日開催の予定。
- 大会会場の候補：札幌市民交流プラザ

5. 奈良伝(ならつたえ)賞のクラブ推薦について

奈良伝賞の推薦について、札幌クラブとしては問題なく推薦する方向で進めると山下理事に伝えた。

6. その他

- 6月13(土)～14日(日)にチミケップキャンプ場ワークがある。汝羊寮生に案内済み。ユースリーダーにも連絡する。
- 5月16日(土)十勝クラブ山菜例会 17時開始 次年度合同例会として実施予定
- 次期北海道部会&十勝クラブ50周年例会 8/29(土)@中札内フェーリエンドルフ
- YMCAよりユースリーダートレーニング経費支援の要請あり。ユース支援5万円の予算内で対応。詳細決まったら再度要請あり。